

JASO定期総会が行われました

2009年年度JASO通常総会が、6月12日に健保プラザにて開催されました。本年度の事業計画として次のことが承認されました。また、新しい理事も迎え新体制となりました。皆様よろしくお願いたします。

- 1) 組織体制の強化・充実
- 2) 耐震総合安全性の考え方の普及、具体的対策の検討
- 3) 行政支援の体制整備
- 4) 総合耐震アドバイザー制度の確立
- 5) 耐震化のための技術集積、具体的作業に役立つ情報の収集
- 6) 耐震建物の評価方法を開発・関係団体との協議
- 7) 第三者認定機関としての体制整備

◎新体制のご案内（★は新理事、新監事）

◆理事（20名）

浅野美次	安達和男	江頭重信	五十殿侑弘	軽石 実★
瀧川公策	田中 孝★	中田準一	中田 亨	長尾直治
原田光政★	平山昌宏	深澤義和	星川晃二郎	本郷智久
松戸満香	三木 哲	宮城秋治	柳下雅孝★	山田周平

◆監事（2名）

木内俊明★ 仲田 潔

総会後には、記念シンポジウムとして「地震総合対策の具体化～震災対策委員会中間報告～」が行われました。JASO震災対策委員会が本年度取り組む「（仮）耐震総合安全対策ガイドライン」の方向性について活発な意見交換が行われました。対策委員会ではご意見を踏まえ、検討を進めてまいります。



目次：

JASO総会の報告 （本年度事業計画・新体制）	1
診断から補強へ アドバイザー制度4年目を迎えて	2
セミナー報告 まちづくりフロンティア	3
セミナー報告 第2回 マンションの補強工事例	4
アドバイザー物件の設計図書 保管状況調査結果（中間報告）	5
新企画！ 設計事務所ご訪～問！	6
新企画！ HS会員ご訪～問！	7
お知らせ&スケジュール	8

新刊紹介 耐震設計ってなんだろう



著 深澤義和（彰国社）

JASO震災対策委員会の委員長を務める深澤義和氏の最新刊が彰国社より発売されました。

40年近く耐震設計にかかわってこられた著者が、過去を振り返り、日本の優れた耐震設計を一般の読者の皆様にはわかりやすく伝えようと執筆された本です。構造の成り立ちから、耐震設計では何をしようとしているのか、地震力はどのようにつかむのか、さらには耐震診断・耐震補強にいたるまで、数式を一切使わず平易な言葉で述べられています。耐震設計は単なる科学ではなく、設計者のみならず国民全体の思いがこめられた文化的、文明的なものだと語る本書は、アドバイザー必携の本といえるでしょう。



JASOトピックス

- 6月12日 JASO総会・記念シンポジウム開催
- 8月24日 JASO・JIA共催 小田原マンション補強工事見学会
★次号掲載
- 8月26日 JASO耐震補強事例セミナー
- 8月26日 東京都建築防災・まちづくりセンター主催セミナー まちづくりフロンティア
- 8月30日 杉並区マンションセミナー ★次号掲載
- 9月5日 東京都・東京都マンション管理士会共催 マンション耐震セミナー

診断から補強へ

— JASO耐震アドバイザー制度 4年目を迎えて — 三木 哲

アドバイザー派遣回数は、杉並区（2006年3月事業開始）、北区（2007年事業開始）、練馬区（2008年事業開始）、新宿区（2009年事業開始）全てで、2009年7月現在約250件あり、このうち簡易診断の依頼が約110件ありました。

この実績は、約50名の耐震アドバイザーによって実施されてきました。

JASOの耐震アドバイザーは、主に「構造技術者」「建築家」「設備技術者」で、日本建築構造技術者協会JSCAの「建築構造士」や、日本建築家協会JIAメンテナンス部会員でマンションの劣化診断、改修計画・設計、大規模修繕工事の工事監理などを手掛ける会員、「マンション管理士」の資格を持つ人も多く所属します。

毎月1回、アドバイザー会議が開催され、各アドバイザーが担当した「アドバイザー派遣業務」「簡易診断業務」「精密診断業務」の内容を報告し、質疑・討論し、問題点を共有して耐震化事業の共通認識を高めながら各業務を進行させてきています。

このように耐震診断では数多くの実績を上げてきたものの、補強工事が完了した事例は、いまだに1件もありません。

耐震補強へ！

杉並区でマンションのアドバイザー派遣、簡易診断助成制度を開始してから4年目になります。この4年間でようやく、いくつかのマンション管理組合と補強計画や設計、補強工事監理などの業務を受託するようになりました。今までこれらの業務は暗中模索の状態、ともかくやってみる、やってみないと業務内容や業務量はわからない状態でした。

これら補強計画・設計、工事監理業務に従事している各プロジェクト担当者の中で情報交換や経験交流が出来る状態になりつつあります。補強計画や補強設計の業務内容や作業量などが徐々に経験を通して認識できるようになってきました。

これからは補強計画・設計、施工会社選定、工事監理コンサルタンツ業務の経験と実績を積み、より積極的にマンション管理組合にアドバイスができるようになる必要があると考えています。

管理組合の合意を得るに当たり、以下の諸点が重要になると考えます。

- ①「補強計画業務」と「補強設計業務」の業務内容、作業量と管理組合の合意形成。
- ②プロジェクト期間の不確定。
- ③補強設計に当たり、「既存不適格」と「法不適合」の是正など自治体の考え方の違い。
- ④補強設計の「判定」「計画認定」と各種助成金、補助金・融資等の活用
- ⑤「補強工法の選択」と「合意形成の障害」
- ⑥各種の「助成金」「補助金」「融資」などの活用の仕方。

JASO 賛助会員からのお知らせ（広告）

100年都市へ。

環境の世紀といわれる今、ビルやマンションなどの都市構造物もより安全で、長持ちするものを造ろうという気運が高まっています。こうした時代のニーズに応えるのが、私たちジャストの建物調査。建築土木技術と非破壊検査技術を駆使した高品質・高精度の調査で一般住宅から大規模土木構造物まで、あらゆる建造物の安全確保とストック型社会の実現に貢献しています。

<http://www.just-ltd.co.jp>

■施工中検査 ■劣化調査 ■耐震診断 ■エンジニアングレポート
■瑕疵点検 ■中長期整備計画 ■地中埋設物調査 ■コンクリート探査・調査

建物総合コンサルタント

Just 株式会社ジャスト

〒225-0012 神奈川県横浜市青葉区あざみ野南 2-4-1
TEL. 045(911)9669 FAX. 045(911)8041



他団体主催
JASO会員講師
セミナー報告

(財)東京都防災・まちづくりセンター まちづくりフロンティア2009

「いつか来る地震から身を守るために」

8月26日 到 東京都住宅供給公社

財団法人東京都防災・建築まちづくりセンター主催の連続講座・セミナー「まちづくりフロンティア2009」の今年のテーマの一つに、「耐震化」が取り上げられ、第2回目講座、8月26日の「いつか来る地震から身を守るために」のセミナーにおいて、マンションの耐震化について、JASO会員建築耐震アドバイザーとして、建築計画系を担当する江守が説明・報告を行いました。

100名程度のセミナー参加者の構成は、まちづくりセンター登録の専門家（まちすけ、分譲マンションアドバイザーなど）、都や区市町村などの行政職員、マンション管理組合などであったようです。

「マンション耐震化への道のりと課題」と題した報告・説明の内容は、マンション耐震化に実務者として関わる中でマンション耐震化の現状、課題と感ずる事や、耐震化の障害と思われる事について、広く知って頂くことを主眼として行いました。

加えて、これまで杉並区、北区、練馬区、新宿区で実施してきたマンション耐震化支援事業の流れについて、アドバイザー派遣～簡易診断～精密診断～耐震補強計画・設計～耐震補強工事の特色などについて説明を行いました。

マンション耐震化の課題として挙げた「合意形成の難しさ」「凶面がない」「既存不適格と法不適合」については、必要に応じて具体的な例を挙げて説明を行いました。

中でも、凶面類保管状況の実態と法不適合の問題については、参加者の興味を引いたように感じられました。

私の報告・説明が、少しでも多くの方に課題を理解して頂き、今後の対策を考える上で役に立つことを祈っております。（江守笑実）

当日のプログラム

○地震に強い東京をつくる

町田 修二氏

東京都都市整備局 耐震化推進担当部長

○現場からみた木造住宅耐震化の課題

前田 邦男氏

(有)前田総合建築設計 代表取締役／

東京都木造住宅耐震診断登録事務所協議会 代表幹事

○マンション耐震化への道のりと課題

江守 笑実

(有)共同設計・五月社／

耐震総合安全機構会員JASO建築耐震アドバイザー



マンションの補強工事例セミナー

8月26日 到 アカデミー音羽

JASO主催の「第2回マンションの補強工事例セミナー」が、8月26日に文京区アカデミー音羽で開催されました。

JASOでは、前回（今年1月30日）のセミナーに引き続き、耐震補強工事を行う施工会社の情報を募ってまいりました。今般の工事例セミナーは、情報提供に応じた施工会社のうち、5社から講師を招き、実際の補強工事例や補強工法について解説頂きました。各社の講演内容の要点を以下に紹介します（講演順）。

◆SMCリフォーム株式会社

既存の柱に鉄板とアラミドシートを巻きせん断力の向上を図るとともに鉄筋を追加することでさらに強度も向上するSPAC工法について説明されました。漁港施設・店舗の事例が紹介されました。

◆前田建設工業株式会社・フジミビルサービス株式会社

耐震補強リニューアルについて公営住宅の具体事例をもとに説明されました。特に、制震バットレス工法について説明がされました。

◆株式会社 富士ピー・エス

斜めPC鋼材を用いたパラレルフレームやユニットフレーム工法について解説されました。学校における具体的な事例紹介されました。

◆株式会社 松村組

鉄筋コンクリート組積造（RM造）を用いた耐震壁の設計方法や具体的な事例が紹介されました。事例紹介では具体的なIs値についても解説されました。

◆青木あすなろ建設株式会社

制震ブレースによる外付け工法による居ながら補強について説明されました。具体的な事例では共同住宅、学校、庁舎、病院について説明されました。また、実大建物の仮動的実験として無補強時と制震補強時の解説もされました。

各社耐震補強に関するノウハウをご紹介頂き、技術的質問が出され、大変好評のセミナー内容でした。

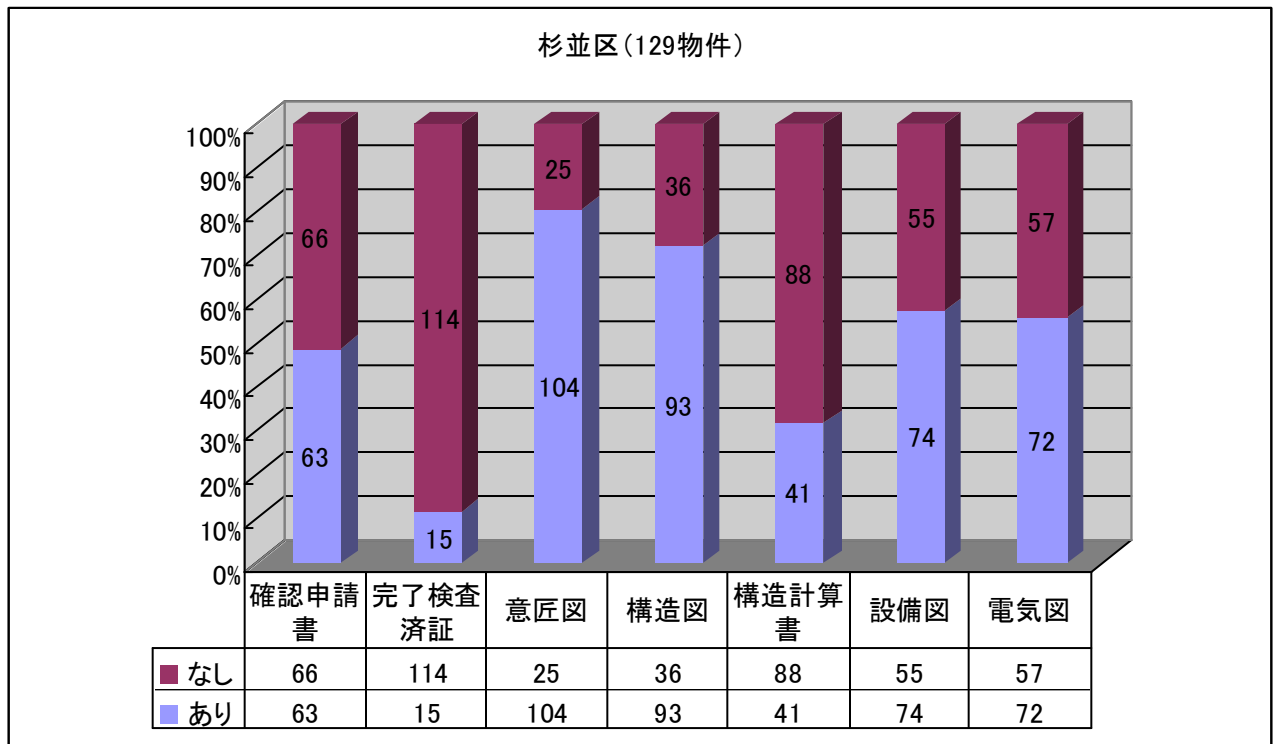
今後は、都市型マンション特有の敷地に余裕がない場合の補強方法や、ソフト面の情報などについて、さらに事例が集まることを期待します。（田中 聡）



JASOアドバイザー派遣物件の 設計図書等の保管状況について(調査結果中間報告)

JASOが行政への耐震支援事業を進める中で、精密診断が必要にもかかわらず設計図書類がないために耐震化が図れないという物件が数多く見受けられるようになりました。JASOではこれを社会的な問題として取り上げようと、これまでに受託した物件の図面保管状況を調査いたしました(とりまとめ：JASOアドバイザー 田中孝氏)。この度、中間報告として杉並区の129件を取り上げて結果をご報告いたします(資料作成 宮城秋治氏)。

建物の診断をする上で必要な、確認申請書、完了検査済証、意匠図、構造図、構造計算書、設備図(機械)、電気図について、その有無を調査したところ、下記のような結果となりました。



結果は、

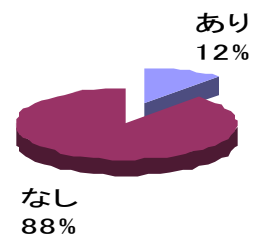
- ①確認申請書を持っているケースは約半分。
- ②完了検査済証を持っているのは12%とわずかである。
- ③意匠図は持っている割合が高く、81%が持っている。
- ④構造図は72%が持っている。
- ⑤構造計算書は32%しか持っていない。
- ⑥設備図は57%が持っている。
- ⑦電気図は56%が持っている。

と、もっともポピュラーな意匠図でさえ保管が約8割であり、耐震診断に必要な構造図は約7割、補強工事の手続きで必要になる可能性のある完了検査済証は1割しか保管していないということがわかりました。

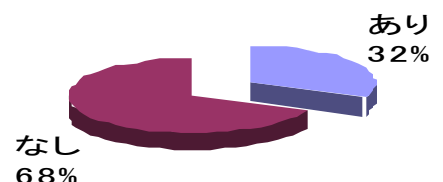
国では住宅の履歴情報をストックし活用する動きがはじまっていますが、既存住宅においては、建物の初期情報として大切なこれらの書類が必ずしもきちんと保管されていない状況がデータとして確認できました。

JASOとしてはもっとデータを充実させ、行政等に発信していきたいと考えています。

確認検査済証



構造計算書



設計事務所ご訪問!

第1回 モア・プランニングオフィス (尾崎京一郎氏)

開港150周年でにぎわう横浜・中区に尾崎さんの事務所を訪ねました。至近にたたずむ「三井物産横浜ビル」は遠藤於菟の設計による日本一古い本格的な鉄筋コンクリートビル（地下1階、地上4階建て）だそうです。1911年（明治44年）の竣工なので長崎の軍艦島にある鉱員社宅30号棟よりも5年古いこととなります。点在する歴史的建築物と新しい建物がゆとりのある車道と歩道の幅員にうまく結ばれて、なんとも居心地のいい横浜の街並みです。マンション改修を主な業務にされている尾崎さんがこの場所に事務所を構えられている理由が街を歩くだけで感じられるようです。

JASOでは耐震精密診断から補強設計、これから工事に着手されようとしている意匠系の牽引者でもあります。JASOのシステムがまだ確立していないなかでここまで事業を進められてきたお話しを伺いました。道路幅員や斜線、面積、配置、寸法など既存不適格を判断するチェックリストが必要であること。耐震メニューの単価も理解した上で施工計画も早い段階から練っていく必要があること。判定会議を複数回受ける過程で構造設計者の作業が膨大になること。計画認定を受けない場合は耐震改修促進法の適用がないこと。施工会社見積合わせで出た質疑の内容を設計に落とし込む余地があること。構造だけを見てつっぱしると困難にぶち当たること。やはり意匠の人が総合的にリードして各法令の網も広く見ていく必要があることなど、経験者でなければ語れない貴重なアドバイスをいただきました。今後のJASOの耐震計画・補強設計を体系化していく布石といえるでしょう。

気が付けば夜のとばりも降りてきたので、警しい匂いと喧噪に満ちあふれる中華街に席を移して今後のJASOの話、耐震・改修・再生の話がさらに綿々と続きました。（宮城秋治）



奥の部分が日本一古いRC建築物



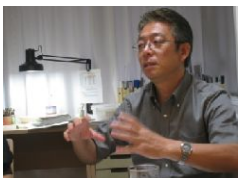
ゆとりの歩道緑地にはフラミンゴのオブジェ



尾崎さんの事務所の作業デスク



横浜生糸検査所のEV吊りフックとレリーフ



このコーナーではJASOの会員事務所を訪問し、最近の動向などについてお伺いします。皆様ご協力をお願いします。

新企画!
IS会員様ご訪問～問!

このコーナーではJASOの法人会員・賛助会員の会社を訪問し、耐震への取組状況についてお伺いします。皆様ご協力をお願いします。

第1回 株式会社 アイ・エス

今回から、当会賛助会員さんへご訪問し、耐震安全性への取り組み状況取材するコーナーを設けました。第1回は、スチールドア用対震緩衝装置「スーパーレスキュー」を販売しております株式会社アイ・エスさんにJASO広報委員会が訪問いたしました。

マンション住戸の玄関ドアは、共用部分へ出るための最も重要な避難口ですが、過去の大きな地震において、玄関ドアが躯体の変形についていけず開かなくなってしまうことがありました。

「スーパーレスキュー」は、ドア枠に生じた変形を吸収する「対震丁番」とドア枠とドアが接触しても滑りにより開閉を容易にする「対震プレート」などが装備され、地震時の避難安全性を確保することができる「対震緩衝機能付き玄関ドア」です。

オフィスには、実際に「対震丁番」が可動する様子を見学できるコーナーが設置されており、ドアの実物を見ながら対震機能を体験することができました。また、「対震プレート」の滑りやすさも手にとって確認することができました。

今後も重要な避難口としての安全性能を充実させ、耐震性のさらなる向上を目指していきたいと話されておりました。(柳下雅孝)



取材協力:株式会社 アイ・エス
 国際ピーアール株式会社
 株式会社北村鉄工所
 アイ・エス <http://www.is-door.com/>
 03-3249-3531

写真左: 対震丁番の動きを確認できる実物模型

写真右: 対震ドアの説明を受ける取材班

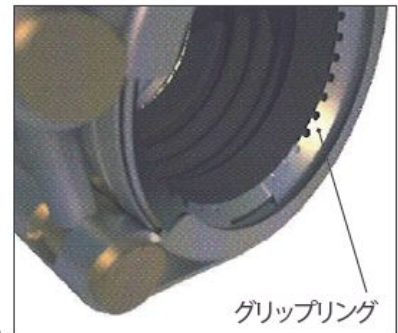
JASO 賛助会員からのお知らせ(広告)

優れた耐震性能を標準装備した高性能メカニカル管継手



**ストラブカップリング
 グリップタイプ**

高強度グリップリングによる高い振動吸収性が、地震により発生する曲げモーメントを吸収します。



ショーボンド カップリング株式会社

<http://www.sb-coupling.co.jp/>

■本社: 〒136-0076 東京都江東区南砂 2-2-17 TEL. 03-5690-7411(代表) / FAX. 03-5690-7421
 ■大阪営業所: 〒536-0022 大阪市城東区永田 3-12-15 TEL. 06-6965-7235(代表) / FAX. 06-6965-7236

詳しい資料はHPまたは左記までお願いいたします。

.....お知らせ.....

東京都 耐震キャンペーン（8月27日～9月13日）のご案内（9/5以降を掲載）

東京都・一般社団法人東京都マンション管理士会主催 マンション耐震セミナー&個別相談会 講演：マンションの耐震化のすすめ 改修事例紹介、耐震化模擬理事会 ほか	9月5日（土） 13時30分～ 17時	都議会議事堂1階 都民ホール 都政ギャラリー	先着申込順 250名	【問合せ先】 東京都都市整備局 マンション課 03-5320-4944 【申込】 東京都マンション管理士会 03-6413-8727
---	---------------------------	------------------------------	---------------	--

武蔵野市	むさしの・住まいよろず相談 木造住宅耐震相談 など	9月6日（日） 10時～16時	吉祥寺駅北口 サンロード入口	武蔵野市 都市整備部住宅対策課 0422-60-1905
昭島市	住まいの防災ふれあいフェア 防災パネル展、耐震診断相談 家具転倒防止取り付け相談など	9月12日（土） 10時～15時	昭島市役所 市民ロビー及び駐車場	昭島市 都市計画課 042-544-5111（内2264）
練馬区	耐震相談会 専門家による相談会	9月13日（日） 13時～16時	旭町南地区区民館 多目的室 （練馬区高松 5-23-15）	練馬区 都市整備部建築課 03-5984-1938
八王子市	建築無料相談 専門家による耐震相談	9月14日（月） 9時～16時	八王子市役所 2階市民ロビー	八王子市 まちなみ整備部建築指導課 042-620-7264

講演録のご案内

**新潟県中越沖地震と柏崎刈羽原子力発電所
一起きたことと起きなかったこと**

執筆 東京電力株式会社原子力設備管理部 部長 土方勝一郎

本講演録は、東京電力の新潟県中越沖地震対策センター部長として地震後の対応に忙殺されておられた土方勝一郎氏に、特にお願ひして「新潟県中越沖地震と柏崎刈羽原子力発電所」のテーマで昨年6月にご講演頂いたものです。原子力施設が大きな地震の直撃を受けるというかつて類例を見ない災害の貴重な経験ですので、この記録を広く知ってもらうことが重要と考えて、（社）日本建築構造技術者協会のご協力を得て、機関紙「Structure」に3回に分けて掲載していただきました。今回これを合刷して出版いたします。ご入用の方は1部 200円にて承りますので事務局までご連絡下さい。

2009年 JASO 行事スケジュール

9月	9/1	（火）	アドバイザー会議
	9/5	（土）	東京都・マンション耐震セミナー（JASO講師）
	9/15・17	（火・木）	耐震簡易診断審査委員会
10月	10/6	（火）	アドバイザー会議
	10/20	（火）	耐震簡易診断審査委員会
11月	11/10	（火）	アドバイザー会議
	11/17	（火）	耐震簡易診断審査委員会

スケジュールは随時更新いたしますので、最新号でご確認下さい。